

一般質問

2月定例会では、26人の議員が一般質問を行いました。

本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

今後の雪害対策について



福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

問 ①今回の豪雪では除雪作業員の数と経験の不足があった。除雪の研修を県が行えば除雪能力を向上させることができるのではないかと②除雪の出動基準があやふやなので判断基準と出動体制を構築すべきでは？

答 ①教訓を胸に刻み対策に邁進したい。除雪人材の育成事業について事業者側と調整したい②現状の出動基準は10センチの積雪となっているが、新年度に向けて業者と調整し、5～10センチなど、幅を持った基準にするなど、改めていきたい。

農産物の国際認証 グローバルGAP(※)



澤 紀男 議員

選挙区 米子市
会派 公明党

問 安全な農産物の国際認証として最もレベルの高いグローバルGAPがある。東京オリンピック開催時の食の調達基準にもなっている。全国の農業高校で唯一、青森県立五所川原農林高校がグローバルGAPを取得しているが、世界を見通した農業人材育成の教育として県内の農業高校でのグローバルGAP取得に向け検討することも必要と考えるが教育長に伺う。

答 (教育長)五所川原農林高校が教育の中でどのように生かしているのか視察し研究する。

新しいがん治療への対応



前田 八壽彦 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 がんの新たな治療法として分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬が登場している。本県のがん拠点病院の医師を県外の医療機関に派遣し、長足の進歩を遂げているがん治療を学ぶ制度を考えてはどうか。

答 新しい医療の力で、がんの死亡率全国ワースト3位から改善の兆しがある。新しい治療薬等、がん治療の研修は大切。本県で症例の多い肺がんや胃がん、肝がんを優先的に、県外の指折りの病院での専門研修への支援について早速関係者と協議する。

※ GAP…農業生産現場において、食品の安全確保などに向けた適切な農業生産を実施するための管理のポイントを整理、実践、記録する取り組み。

高齢者の貧困対策について



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 社会の超高齢化に伴う孤独死、高齢者犯罪の増加などの問題の根底には高齢者の貧困問題があると言われていたが、これは根深いものであり、一朝一夕で解決するものではなく、国はもちろん、地域全体で取り組むべき問題だが、県としても何らかの対応をすべきと考えるが。

答 子どもの貧困と同様の問題であり、新年度改定の鳥取県高齢者の元気と福祉のプランの中に高齢者の貧困について、一つのカテゴリーとして市町村や現場の声を聴いてまとめていきたい。

除雪対策 こども食堂



坂野 経三郎 議員

選挙区 鳥取市
会派 民進党

問 除雪対策について①新潟県上越市のように除雪車にGPSを取り付け、動きをリアルタイムでネット公開②県道と市道を一括一元化した除雪体制に③SNSを活用した情報収集。以上について取り組んではどうか。

答 ①市町村と話し合う②市町村と相談する③研究を深めたい。

問 子供の格差は、大人の責任で是正していかななくてはならない。こども食堂の取り組みを問う。

答 こども食堂の平成31年度の設定目標を、15食堂から、少なくとも30食堂に引き上げる。

中部地震激甚指定 美術館建設問題



長谷川 稔 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

問 ①倉吉市の中部地震被害について、再調査の結果により局地激甚災害の指定を国に求めているべき②美術館の実現に向けて知事、教育長の所感を伺う。

答 ①公営住宅災害査定が残っており適用の可能性はあるので求めていく②議論の末にできた基本構想を起点とし深化させ全県の施設として仕上げたい。(教育長)オープンで真摯な検討、県民意識調査などを通じて県民の理解も深まったと思う。関係機関のネットワーク構築など県立の美術館となるよう努力する。

農林業振興政策、 環境大学のあり方



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①TPPは頓挫したが、アメリカとの2国間交渉を見据え、県内農業保護・振興政策が必要ではないか②林業振興のために造林公社の役割を再考してはどうか③公立大学としての環境大学のあり方を問う。

答 ①庁内の農林部局も含め、国際経済変動対策のプロジェクトチームを編成し対応する②人材育成・研修等業務を拡張するの一案かもしれない③県内出身者割合は相対的に低い傾向。公立大学の使命として県内出身者を増やす努力をしていく。

道路網の整備促進 北条用水路の改修



横山 隆義 議員

選挙区 東伯郡
会派 希望(のぞみ)

問 ①山陰自動車道のうち未整備の北条道路の早期全線開通と北条湯原道路の整備促進は中部圏域にとって重要事項。早期実現を望む②北条用水路の改修は、その役割から、水路施設整備事業ではなく農村地域防災減災事業とし早期着工を望む。

答 ①災害時の輸送路、積雪時の代替路等の様々な機能が今回証明された。決意も新たに道路の接続に全力を挙げていきたい②防災減災事業の可能性を国と協議していきたい。そのため29年度にしっかりと調査したい。

観光産業の振興と 景観形成の必要性



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市
会派 希望(のぞみ)

問 中部地震からの復興に向けて産業としての観光の振興が必要ではないか?そのためには良好な景観の形成が必要だと考えるが、これまでの取り組みは十分ではなかったのではないかと?

答 産業としての観光振興は、まずはそれぞれの市町村や広域の地域が戦略を実行し、県はそれらの取り組みで、地域だけでは賅い切れないものを広域的にサポートしていく。景観については、デザイナー的に修景をつくる取り組みがあちこちで生まれるようにしたい。

コメ政策改革と 美術館構想への対応



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会派 民進党

問 ①来年産米からの米政策改革に対して、米の需給調整と飼料用米などの交付金の法制化を国に求めるべき②美術館構想に、美術を通じた学び、対話型鑑賞や学校授業との連携という視点が盛り込まれた。県教委各課にまたがる関わりが必要だ。

答 ①需給調整の責任を果たすことと、交付金法制化ではなく予算総額の確保を国に求める②(教育長)29年度、博物館内の検討チームと、県教委各課と学校現場の組織横断PT(※)とを立ち上げ、リンクさせて検討する。

※ PT…プロジェクトチームの略

雪対応・産後ケア WEB・美術館



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①豪雪時、各企業で出勤前に休業判断出来るよう経済界と協議を②産後ケア施設を増やす方策を③バナー広告の代わりに観光グルメ等お勧め記事を配信できるシステム構築を④美術館だけでなく全県アートピア構想を具体化する検討委の設置を。

答 ①企業側と対策を協議したい②認知度を高め利用促進を図る支援を強化したい③イベントサイト等に観光・グルメ情報が行く工夫は可能④アートピア構想を盛り上げるのは賛成。検討の場作りを県教委と協議する。

美術館の理念と プロセスについて



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 検討委員会、専門委員会、教育委員会の議事録を読むと、最初からアンケートを念頭に鳥取市2ヶ所を含む候補地とするなど、審議の過程や内容が作為的誘導だ。また、アンケート結果についても3候補地の差は誤差の範囲という専門家の意見を無視した基本構想ではないか。

答 基本構想がゴールではなく、本当に県民立と言えるよう説明責任を尽くす。道路のことも含め、教育委員会で解決がつかない所は執行部も一緒に重荷を背負って行く覚悟である。

農業に関わる 認証制度について



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

問 ①GAP(※1)認証は輸出や流通面で強い競争力を発揮する。本県での必要性と今後の対応を伺う②衛生管理の国際基準HACCP(※2)の導入が、早ければ2018年には全ての食品事業者に義務づけられる。資金的、人的支援が緊急に必要では。

答 ①世界的にはグローバルGAPを求める時代が来る。高いレベルのGAP認証を狙う戦略でいく②支援体制を改めて考え直し、世界と戦える本県の農林水産業・食品加工業の支援をしていきたい。

美術館建設は県民に 十分な説明を



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 位置的な県の真ん中でなく、情報が集まる県庁所在地に置くべきとの意見を聞く。また、偏った報道が流れ不満を抱く人が多くいる。この状況で決めることは、県民を混乱させ、美術館建設に希望が持てないと感じる。知事、教育長の所感は。

答 もう一回やり直すことは、逆に県民の間に混乱が起きる。民主主義の力を信じたい。(教育長) 予算議決の暁には、速やかに、鳥取市議会、関係市町村を回り基本構想内容を丁寧に誠実に説明させていただく。

災害時の支え愛と 障がい者スポーツ



浜崎 晋一 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①中部地震や大雪を踏まえた地域の支え愛の考え方をあいサポート条例と防災危機管理条例の中に盛り込むべきでは。②布勢の障がい者スポーツ拠点整備のスケジュール感はどうか。

答 ①「災害時支え愛活動」や自治会単位で自主的に開設する「支え愛避難所」を新たな災害対策として考え、防災危機管理条例、あいサポート条例に盛り込んでいきたい②6月までに構想を取りまとめ、パラリンピック前の平成31年度に完成できるよう、ねじを巻いていく。

産廃処分場事業計画 縦覧やり直しを



錦織 陽子 議員

選挙区 米子市
会派 共産党

問 処分場事業計画書の縦覧は土地関係が48頁も抜かれ、市民の指摘を受け追加した。なぜ抜いたのか。計画地の47%は米子市有地であり、平成4年の開発協定は一般廃棄物処分場に利用が限定され、産廃への変更はまだだ。こうしたことを市民に隠したのではないか。

答 縦覧は土地所有者等の情報まで求められておらず、私有地もあり個人情報に配慮した。追加自体は条例規定に該当しない。用途変更は事業の是非が整った段階でする。

数字で見る鳥取県



西川 憲雄 議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

問 ①10年前との比較で製造業の事業所数、出荷額の減少をどのように考えるか②農林漁業は市場縮小を考えれば頑張っているが、2次産品、加工業に、より取り組んではどうか。

答 ①大企業が撤退し出荷額が減少したが、企業誘致も進み出荷額ベースで7年ぶりに戻って来ている。1兆円あった製造品出荷額が戻ることを目指す②付加価値を高めるよう応分に県の政策も割いていく。加工場が揃っていない所もあり、本県の課題として取り組んでいく。

※1 GAP…農業生産現場において、食品の安全確保などに向けた適切な農業生産を実施するための管理のポイントを整理、実践、記録する取り組み。

※2 HACCP…食品を製造する際に工程上の危害を起す要因を分析し、それを最も効率よく管理できる部分を連続的に管理して安全を確保する管理手法。

カタログギフトに 県産品売り込みを



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会 派 民進党

問 県産品の販売促進が取り組まれているが、冠婚葬祭用のカタログギフトに県産品が一つもない。返礼品用のカタログに県産品の掲載をしていただく戦略を検討したらどうか。また、ふるさと納税の返礼用に市町村が作成しているカタログを活用して、県内版の冠婚葬祭返礼用のカタログができないか。

答 新たに冠婚葬祭を手掛けている業者に売り込み、攻勢をかけたい。県内版カタログギフトについては、できるかできないかを含め研究したい。

美術館問題、県住 水道料金徴収委託



银杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会 派 公明党

問 ①美術館②先日の表明で「足し算」と言われたが具体的には？
①総意でない場所に決定してはいけない②不利益を被る東部の県民の気持ちに思いが至らない。倉吉決定を撤回し、県民、特に東部の賛同を得る努力を②県営住宅の水道料金徴収委託は。

答 ①②従来の博物館と新しい美術館の役割分担について配慮する①立ち止まれば結局できなくなる②東部のことも含めて、皆さんからお話も聞きながら詳細を決めていく②入居者、管理人の費用負担は求めない。

核兵器廃絶、美術館、 県警職員処分



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会 派 共産党

問 ①核兵器廃絶ヒバクシャ署名を②UDタクシー(※1)障がい者料金安く③国保の国減額見直し生かし小児医療費無料に④中部地震一部損壊支援の制度化⑤地震復興これから。美術館中止を。経費削減PFIやる業者あるのか⑥県警職員の公務員試験口利きや暴力団事務所出入りが開示請求で明らかに。処分重くし発表を。

答 ①署名する②話をしたい③現時点では考えてない④検討し議会に諮る⑤(教育長)現段階何とも言えない⑥(警察本部長)警察庁指針を参考に個別の事案毎に判断。

中小零細企業対策 ジビエ、家庭保育



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会 派 民進党

問 ①中小零細企業の休廃業対策は喫緊の課題。支援策は②山、田畑を荒す猪と鹿の捕獲27年度約15,000頭。活用の為のジビエ振興は③家庭内保育支援事業が女性を家に縛らないようその目的を伝え、孤立化防止のネウボラ(※2)充実やマイ保育園(※3)を。

答 ①現場の声を聴き、事業引継ぎ支援センターの体制の充実を図る②西部に振興組織ができれば応援し、今後の体制づくりを協議する③正しくPRする。ネウボラ、マイ保育園は市町村と情報共有。いろいろ研究してもらいたい。

淀江産廃処分場 エリア外へも説明を



松田 正 議員

選挙区 米子市
会 派 自由民主党

問 条例上の区域外の皆さんの気持ちにどう応えていくかが今計画を推進するための絶対条件であると思う。条例上の区域外の皆さんの理解をどのようにして求める考えなのか。

答 地元の住民の理解が得られているという段階になったら、自治連合会、商工会、漁協など、求めがあれば、環境管理事業センターとよく相談して、県が出向いて、許可した処分場の整備計画、地域振興策等を説明するということについてはやぶさかではない。

県西部の 環状道路について



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会 派 自由民主党

問 鳥取県西部の外環状道路のミッシングリンクをつないでいくことが重要と考える。外環状道路として日野川西側に皆生諏訪線を検討すべきと考えるが、知事の所見を伺う。

答 米子市南側から国道180号、181号、東西方向の山陰道などの幹線道路が市街地中心部に放射状に流れている関係で、市街地が渋滞しやすい状況にあるのが現状。今後地元と相談し、県と市の役割分担を協議しながら、今後の道のあり方について考えていきたい。

※1 UD タクシー…ユニバーサルデザインタクシーの略。誰もが利用しやすい新しいタクシー車両。

※2 ネウボラ…妊娠から出産、子育てまで自治体が切れ目なくサポートするしくみ。

※3 マイ保育園…育児に対する不安感や負担感を解消するため、各地域の保育所を身近な子育て支援施設と位置づけ、保育所入所前から登録保育園でのサービスを受けられるようにするもの。

成長を切り拓く 人材の創出について



野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 県民の稼ぐ力をいかに作るかの観点から①兼業・副業の推進②奨学金について、大学入学年度からの登録や起業する場合の優遇措置など支援制度の見直し③実践的ビジネスサロン・スクールの設置等に取り組むべき。

答 ①活力や成長力が生まれると思う。国の調査をフォローアップしながら広めていく②出資者と調整のうえ工夫したい③提案された神戸の事例のように成長の基軸を担うような起業を目指し、新しいタイプのファンドの運用や組み換えを検討したい。

観光戦略 いじめ問題



浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 ①観光客の増加が見込まれる中、JR境線の観光列車化を図られるようJRに働きかけてはどうか②重大ないじめ問題が確認できた場合の県の対応は？

答 ①妖怪列車のパワーアップを含め、沿線を盛り上げるように境港や米子の観光協会と協議しJRに働きかけたい②(教育長)調査結果は原則公表だが、特別な事情など個別に検討し判断する。担任一人が抱えるのではなく組織的に対応することで、重大事態につながるケースを防ぐことに力を注いでいく。

部落差別解消法 大山1300年祭



福間 裕隆 議員

選挙区 西伯郡
会派 民進党

問 ①部落差別解消推進法について⑦見解を問う⑧県・県教委そして運動体・有識者等で構成する新たな協議機関を設けて施策を協議しては⑨地域に似合った対策を②大山1300年祭は県がリーダーシップをとるべき。

答 ①⑦基本理念が条文に書かれたのは特筆すべき(教育長)重要な意義があると認識⑧既存の協議会を拡充し、教育者の方々も意思統一が図れるように統一的な場所以関係者と議論したい⑨先導的な事例を作れるように考えたい②県の体制強化を図る。

会派正式名称

- 【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
- 【民進党】会派民進党
- 【公明党】公明党鳥取県議会議員団
- 【希望】鳥取県議会希望
- 【共産党】日本共産党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事(各部局長の答弁を含む)。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため別に表記した。

お知らせ

県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。

暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

ネットでもご覧になれます

本会議、常任委員会、全員協議会はインターネット(<http://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>)で生中継と録画中継をしています。本会議はケーブルテレビでも放送しています。

※ご不明な点はお気軽に県議会事務局総務課(☎ 0857-26-7460)へお問い合わせ下さい。

6月定例会の日程案

期日	日程
6月 9日(金)	本会議(開会・提案理由説明)
12日(月)	常任委員会
13日(火)	本会議(代表質問)
15日(木)	本会議(一般質問・質疑)
16日(金)	
20日(火)	
21日(水)	
23日(金)	
26日(月)	常任委員会
28日(水)	特別委員会
29日(木)	特別委員会
30日(金)	本会議(採決・閉会)

※日程は変更の可能性があります。